

## 身边的日本食物

### — 作为涂料等使用的食物(柿子) —

到了收获的秋季。以稻米为首,薯类,果树类等很多的农作物得到收获。当秋风一起,气候也变得平稳了,食欲也就变得旺盛了。

郊外,在晴朗的蓝天下,能看到累累果实压枝头的柿子树。柿子也被称作水果中之王。甜柿子作为点心以及餐后甜食,就那么直接食用,熟柿子以及柿饼等涩柿子,可进一步通过酒精·碳酸气体·加热等把涩味去掉的方法,使得感觉不到涩味等,用各种各样的办法能愉快地加以品尝。

那么,不知诸位有没有把涩柿子搞错成甜柿子,啃了一口的经历?口里很涩,涩得许久,使脸皱成一团。但是,涩柿子也不应该扔掉,由于提炼出的柿漆里有易凝固的性质,在日本从平安时代起,作为增强·防水用的涂料而被广泛地使用。

有称作“茶色扇”的扇子。就是在扇子上糊的日本纸的底子上涂颜色,然后在这上面涂柿漆。这样就变得笔挺很结实,有独特的光亮,有一种无法形容的感觉。

有称作“油纸雨伞”的雨伞。现在,雨伞几乎是布·尼龙·乙烯材质制作而成,即使碰到骤雨,也能在便利店买到,大约500日元至1,000日元之间。以前,防雨的伞,是在糊上纸的上面涂柿漆,施加防水的油纸雨伞。劈劈啪啪地弹走雨水滴,那声音有一种使人忘却下雨阴郁天气的风情。现在已几乎看不到了。

另外,柿漆作为建筑用涂家里的柱子等,那种棕色的柱子也只能在古民房等才能看到。

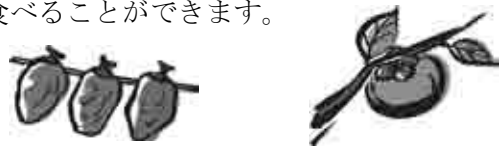
近来,随着科学的发达,开发出各种各样的素材,生活变得方便了,但是知道前人周边的物品的特征,并且对于不浪费地使用它们,运用到生活中的智慧以及姿态,唯有感到钦佩。

## 身近にある日本の食物

### — 塗料などとして利用される食物(柿) —

収穫の秋。コメをはじめとして、芋類、果樹類など、たくさんの作物が収穫されます。秋風が立ち、気候も穏やかになってくると、食欲も盛んになります。

郊外では澄みきった青空に、たわわに実をつけた柿の木を目にすることができます。柿は果物の王様とも言われています。甘柿はそのまま、おやつやデザートとして食べますが、渋柿は、熟柿や干し柿、さらにはアルコール・炭酸ガス・加熱等による渋抜きの方法で渋味を感じなくさせるなど、いろいろな工夫で楽しんで食べることができます。



さて、渋柿を甘柿と間違っかぶりついたことはありませんか。口の中が渋くて、その渋さにしばらくは顔がくしゃくしゃになってしまいます。ところが、渋柿も捨てたものではなく、抽出した柿渋には凝固しやすい性質があるため、日本では平安時代から補強・防水用の塗料として広く利用されてきました。

「渋扇」という扇子があります。扇子に貼る和紙の下地に色を引き、その上に柿渋を塗ったものです。パリッと丈夫になり、独特のつやがでて、なんともいえない風合いです。



「番傘」という雨伞があります。今では、雨伞は布・ナイロン・ビニール製のものがほとんどで、急な雨に遭っても、コンビニエンスストアで500円から1,000円くらいで買い求めることができます。昔は、雨を防ぐ傘は、紙を貼った上に柿渋を塗って防水を施した番傘でした。雨粒をパチパチとはじき、その音は雨のうとうしさを忘れさせてくれる風情がありました。今ではほとんど見かけなくなりました。

また、柿渋は建築用として家の柱などに塗ったりしますが、その茶色い柱も古民家などでしか見ることができなくなってしまいました。

昨今、科学の発達とともに、いろいろな素材が開発され、生活は便利になっていますが、先人達の、身近にある物の特徴を知り、それらを無駄なく利用し、生活に活かしてきたその知恵や姿勢には、ただただ頭が下がる思いです。